【令和3年度第4次いるま男女共同参画プラン実施状況】

概要(Plan)						実施内容(Do)・評価(Check)							改善(Act)		
基本目標	課題	関連計画	施策の方向	担当課	No.	主な取組	取組状況	男女共同参画配慮項目	評点	各課平均	施策平均	令和3年度に取組んだ重点的な事業 (実績値もあれば併せて記入)	令和3年度事業評価 (促進要因または阻害要因について記入)	取組の課題等 (問題点の改善策と次年度の目標値について記入)	
計画実現のため推進体制を充実する	(1)拠点施設「男女共同参画推進センター」の機能・事業の充実		●相談・情報・学習・交流機能の活性化と事業の多様化	男女共同参画推進センター(人権推進課)	72	さまざまな学習機会及び情報の提供、充実	○	4.事業の方向性について男女共同参画に配慮した	4	3.8	3.4	<ul style="list-style-type: none"> 編集委員との協働により作成した情報紙ビギンにアンコンシャスバイアスについての記事をクイズ形式で掲載した。ビギン発行部数 50,000部 男女共同参画セミナーはコロナの影響により中止となったが、それに代わるものとして、LGBT講演会の開催にセミナー委員の方にご協力いただいた。 LGBT講演会は講師のご厚意により、YouTube配信を実施した。 面接相談の電話・オンライン対応も引き続き実施した。 センター実施事業参加者 R3実績:537名※YouTube閲覧数含む お仕事応援講座の一部をZoomを活用して行った。 センターホームページの内容の充実を図った。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報紙ビギン(全戸配布)を、フルカラー印刷で市報と同時印刷をすることで、安価で効果的に発行することができた。 Zoomを活用したオンライン講座の実施やLGBT講演会をYouTube配信することができ、多くの方に学習の機会を提供することができた。 コロナの影響により、女性リーダー養成講座、ダイアブロン男女共同参画部会のトークショー、市民提案型協働事業である男女共同参画セミナー、初めてのパソコン教室などを中止せざるを得なかった。 ホームページからの相談予約を継続、講座申込を開始した。 	<ul style="list-style-type: none"> 紙媒体での情報提供を見直すことになり、令和4年度以降は情報紙ビギンを発行しない方向としている。編集委員と協議し、今後の情報発信のあり方について、検討する。 市全体でゼロベースでの事業見直しが行われ、更なる講座等の充実が求められている。他機関等とも協力して取り組んでいく。 	
					73	市民提案型協働事業の実施	△		0						
					74	相談事業の充実	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4						
					75	情報紙、ホームページ運営の充実	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4						
					76	情報収集・調査研究の充実	○	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3						
				自治文化課	73	市民提案型協働事業の実施	○	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加しやすいような配慮をした	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 【市民提案型協働事業説明会】2回開催 1団体 1名 	<ul style="list-style-type: none"> 市民提案型協働事業を推進するために、市民活動センター登録団体交流会等で積極的に情報提供を行ったことにより、市民提案型協働事業のPRに努めた。 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動団体・NPO団体の現状把握を行うことで連携強化に努めていく。また、市民活動センター登録団体との関係についても、更なる連携が図れるように努めていく。 		
				男女共同参画推進センター(人権推進課)	●市民・団体・事業者との連携の促進	77	国・県・他市町村・関係機関等との連携強化	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	3.7	2.9	<ul style="list-style-type: none"> 県と連携して女性のための就職支援セミナー、DV被害者支援担当者研修会を実施。 ダイア5市の広域連携によるパートナーシップに関する協定の締結について協議した。 働きたい女性の支援として、商工観光課と連携し、「初めてのパソコン教室」を計画したがコロナにより中止。 男女共同参画審議会において、第5次プランの策定及び第4次プランの令和2年度事業の評価について審議した。 近隣市をはじめ他県や関係機関から男女共同参画に関する情報を収集した。 	<ul style="list-style-type: none"> ちいさなお仕事応援講座の修了生が、前年度から引き続き、市民団体及び民間事業者に繋がり出店することができた。 センターHPに他機関のリンクを貼る等、様々な情報を発信した。 	<ul style="list-style-type: none"> アドバイザー会議において、組織の見直しにより専門相談が男女センター内に移転することを説明したところ、男女センターのあるべき姿や機能が失われるのではないかと厳しいご意見をいただいた。 第5次いるま男女共同参画プランの周知と実施を、関係課と協力して行う。 第4次いるま男女共同参画プランの総括を行う。
			78			市民・団体・事業者との連携強化	◎	4.事業の方向性について男女共同参画に配慮した	4						
			79			団体・事業者との交流の場の提供	○	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3						
				自治文化課	79	団体・事業者との交流の場の提供	○	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加しやすいような配慮をした	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センター登録団体交流会 3回開催 50団体 68名(1回は書面により実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 市民活動センター登録団体交流会を開催することで、既存団体同士の交流の場を提供することができた。男女問わず多くの参加者により交流することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 登録団体交流会を継続して開催することで新規・既存団体が交流できる場を提供していきたい。また、男女共同参画に繋がるように努めていきたい。 		
	商工観光課	79	団体・事業者との交流の場の提供	○	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加しやすいような配慮をした	2	2.0	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画推進センターで行われる事業のチラシの掲出、情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 庁舎内における資料掲示を通じ情報提供・啓発を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き啓発資料や案内などを配信し、啓発に努める。 					

【令和3年度第4次いるま男女共同参画プラン実施状況】

概要 (Plan)						実施内容 (Do)・評価 (Check)						改善 (Act)					
基本目標	課題	関連計画	施策の方向	担当課	No.	主な取組	取組状況	男女共同参画配慮項目	評点	各課平均	施策平均	令和3年度に取組んだ重点的な事業 (実績値もあれば併せて記入)	令和3年度事業評価 (促進要因または阻害要因について記入)	取組の課題等 (問題点の改善策と次年度の目標値について記入)			
計画実現のため推進体制を充実する	(2) 庁内推進組織の活性化		●職員の男女共同参画意識の啓発	男女共同参画推進センター(人権推進課)	80	男女共同参画に関する庁内推進組織の設置、運営	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	4.0	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・施策連携会議において第4次プランの進捗状況を報告し、審議会からの指摘事項について報告するとともに、各課に対しても掲示板にて報告した。 ・第5次プランの策定にむけ、庁内関係課の職員で構成された男女共同参画推進スタッフ会議を開催し、プランの内容等の検討を図った。 ・男女共同参画職員研修はコロナのため中止 	<ul style="list-style-type: none"> ・組織の次長級に対して、審議会からの評価や指摘事項を伝えたことで、各課にたいして問題意識を持ってもらうことに繋がった。 ・第5次プランに関連する課からスタッフを選出することにより、効果的に取組み等を検討することができたと同時に、職員への啓発に繋がった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民意識調査の結果を考察し、課題となっていることについて洗い出しを行い効果的な事業に繋げていくことが必要である。 ・令和5年度は男女共同参画宣言から20年の節目となるため、記念事業についての庁内スタッフからの意見聴取などを検討する。 ・市全体でゼロベースでの事業見直しが行われ、より充実した講座等が実施できるよう、他機関等とも協力して取り組む。 			
					81	男女共同参画意識を定期的(5年ごと)に調査	△	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	0								
				人事課	81	男女共同参画意識を定期的(5年ごと)に調査	△		0	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・新規採用職員研修(中期)の一科目として「男女共同参画について」を実施し、21名が受講した。 				<ul style="list-style-type: none"> ・研修を実施し、職員への意識啓発が図られた。 ・人権推進課と共同で実施予定であった「男女共同参画研修」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とした。 	<ul style="list-style-type: none"> ・男女共同参画の意識向上が図られる研修となるよう、研修内容等を検討し継続して実施する。 見込み人数 60名 ・男女共同参画意識の啓発を目的とした調査はしていないが、今後は状況に応じて研修等に対応していく。 	
					82	意識定着に向けた研修・啓発の実施	○	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加しやすいような配慮をした	3								
				●庁内組織の体質改善	男女共同参画推進センター(人権推進課)	83	特定事業主行動計画(女性活躍推進法)の推進	○	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3	3.5				<ul style="list-style-type: none"> ・第4次プランの令和2年度事業に対する審議会からの評価・指摘事項について、次長級の庁内会議「施策連携会議」で報告し、今後の事業に反映するよう周知を図った。 ・育児・介護休業法の改正など 女性活躍に資する国・県からの情報を、人事課や商工観光課等と共有した。 ・第5次プラン(案)に対する庁内パブリックコメントを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・審議会からの評価・指摘事項を施策に関する評価を次長級の会議で報告することで、トップダウンで各課に対して直接的な問題提起に繋げることができた。 ・第5次プラン(案)に対する庁内パブリックコメントなどにより、広く庁内の意見を収集することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次プランの総括を行い、プランの評価や審議会からの意見等について、あらゆる場を活用して伝えていくことが必要である。 ・第5次プランの周知などを行い、全庁的に男女共同参画に取り組んでいけるようにすることが必要である。
						84	第4次いるま男女共同参画プランの進捗状況の把握による意識啓発	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4							
			人事課			83	特定事業主行動計画(女性活躍推進法)の推進	○	3.男女の別に関わらず誰にとっても利用・参加しやすいような配慮をした	3	3.0	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の進捗状況を取りまとめ、入間市における女性職員の活躍の推進に関する検討委員会(書面開催)で報告し、意見聴取を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・女性活躍推進法に基づく特定事業主行動計画の推進について、課題整理を行うことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 管理職昇任試験受験者数(女性) 2人 主査昇任試験受験者数(女性) 5人 			
						84	第4次いるま男女共同参画プランの進捗状況の把握による意識啓発	△		0							

【令和3年度第4次いるま男女共同参画プラン実施状況】

概要(Plan)						実施内容(Do)・評価(Check)						改善(Act)	
基本目標	課題	関連計画	施策の方向	担当課	No.	主な取組	取組状況	男女共同参画配慮項目	評点	施策平均	令和3年度に取組んだ重点的な事業 (実績値もあれば併せて記入)	令和3年度事業評価 (促進要因または阻害要因について記入)	取組の課題等 (問題点の改善策と次年度の目標値について記入)
計画実現のため推進体制を充実	(3)計画の進行管理・評価		●計画の進捗状況を分析・評価し改善	男女共同参画推進センター (人権推進課)	85	進捗状況の調査・評価と公表	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4	3.7	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次いるま男女共同参画プランにおける令和2年度の各課の取組状況について、担当課の自己評価、審議会及び事務局による総合評価を行い、評価結果や審議会からの指摘事項について記載した報告書を作成した。 ・審議結果を各課へフィードバックするため、施策連携会議に報告書を提出するとともに各担当課へ個別に送付し、今後の取り組みに活かすよう依頼した。 ・報告書等は、市公式ホームページに掲載し市民に公表した。 ・センター施設利用人数:921人 ・事業参加者数:537人 ※YouTubeによる動画配信講演会有り ・事業についてはセンターだけで報告を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業の評価をもとに、改善点を踏まえ、事業の更なる推進を図った。 ・新型コロナウイルス感染症の影響で、大規模会場で開催予定だった講演会などが中止となり、事業参加者数は昨年より大幅に減少した。(昨年度:2,191人) ・集合形式で開催したLGBT講演会をYouTubeによる動画配信も行ったことで、より多くの方に、男女共同参画推進センターを知っていただくことができた。 ・「R2年度男女共同参画社会に向けての市民意識調査」結果を基に、第5次男女共同参画プランを策定した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第4次プランの最終年度である令和3年度の評価およびプランの総括を行い、今後の事業に生かす。 ・令和4年度は、第5次プランの初年度となることから、他のプランの評価方法などを参考に、評価しやすく分かりやすい方法を検討する。
					86	評価に伴うフォローアップ	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	4				
					87	推進センターの事業の実施状況及び利用状況の公表	◎	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	3				
					88	市民の男女共同参画意識を定期的(5年ごと)に調査	△	5.事業の効果が男女共同参画推進に寄与した	0				